

### 保証書別添付

このたびは車載用リアビューカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

### 安全上のご注意

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
■ 誤ったお使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

<b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
<b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明します。(次は図記号の例です)	
<b>禁止</b>	してはいけない内容です。
<b>実行</b>	実行しなければならない内容です。
<b>注意</b>	気をつけていただく内容です。

### 警告

#### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。(規定容量:1A)

#### 機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

#### 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

#### 目視による安全確認をする

モニター画面だけではなく、必ず目視による安全確認をしてください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり交通事故の原因となります。

#### 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

#### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻きつかないように引き回し、まためたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

### 警告

#### 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

#### 本機はDC12V-24Vマイナスアース車で使用する

DC12V-24Vマイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

#### 故障や異常のまま使用しない

煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。  
禁止  
● 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。  
分解禁止  
● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

#### 使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

#### 配線・取り付け作業中は必ずバッテリーのマイナス端子を外しておく

バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

#### 車載用以外には使用しない

車載用以外(例えばシャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

#### 指示に従って正しく配線・取り付けを行う

説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

#### コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

#### 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けない

高圧洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部、ヒューズボックスに入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

### 注意

#### 必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

#### 配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。  
● 安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

#### 強い衝撃を与えない

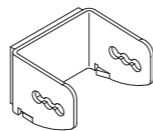
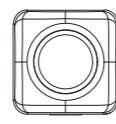
落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

#### システムには限界があります

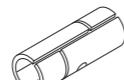
本製品のカメラ機能は死角を完全にカバーするものではありません。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

### 構成部品

- リアビューカメラ本体 (約1mケーブルを含む)x1
- U型ブラケット (3Mテープ)x1
- 延長ケーブル(約6m)x1

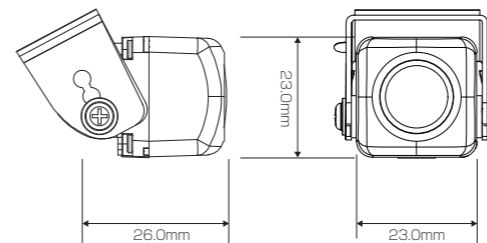


- 固定用ネジx2
- 保護カバーx1
- 固定用バンドx3
- クランプx4



### 仕様

- 使用電源・・・DC12V/24V
- 映像出力・・・NTSC
- 映像素子・・・1/4インチカラーCMOS
- 画素数・・・約35万画素
- 画角・・・水平約140° 垂直約115° 対角約170°
- フレームレート・・・30fps
- 解像度・・・720H x 480V
- f値・・・2.6
- 最小照度・・・1.0 lux
- 防水結構・・・IP67
- 消費電流・・・100mA
- 動作温度・・・-30~70℃
- 保存温度・・・-40~80℃
- 消費電力・・・約0.5W
- 本体サイズ・・・約23(W)×23(H)×26(D)MM
- 本体重量・・・約35g(本体)



### トラブルシューティング

こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
カメラ映像が見えない	配線が外れている ヒューズが切れている	各コードの接続を確認してください。 ヒューズを交換してください。
映りがわるい	カメラにほこりや泥がついている	水を含ませて柔らかい布でレンズの汚れを拭いてください。強くこすると傷の原因になりますのでご注意ください。
	太陽光や強い光が入射している	強い光が消えればもとの映像に戻ります。
	暗いところを映している	夜間や暗い場所では画面が見えにくいことがあります。明るい場所に戻ればもとに戻ります。
	部分的に明るい光を映している	暗い場所から明るい場所に移動した場合、画面が明るくなりすぎる場合があります。暗い場所に移動するともとに戻ります。

### 本機のお手入れ

- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。
- 研磨剤が配合された洗剤で拭かないでください。傷の原因となります。
- レンズ部が汚れているときは、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因となります。

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話...048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>

## カメラの取り付けかた

### 取り付け位置について

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準※」に準拠した取り付けが必要になります。  
 取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。

#### 外装の技術基準※(抜粋)

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起も有してはならない。

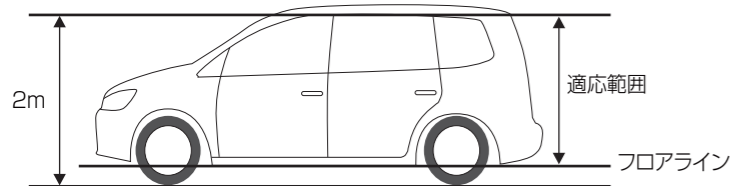
#### 対象車種

2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。  
 (乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)  
 ※法規の詳細については、国土交通省のホームページをご参考ください。

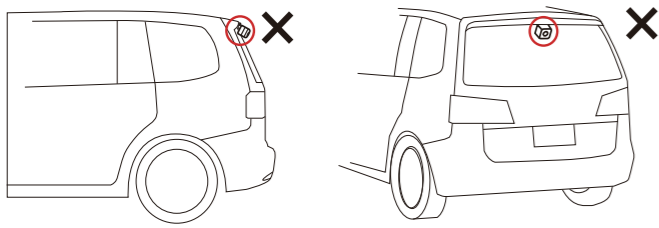
国土交通省ホームページ  
<http://www.mlit.go.jp/index.html>

### 適応外となる部位

- 高さ2m以上の部分
- フロアラインより下の部分

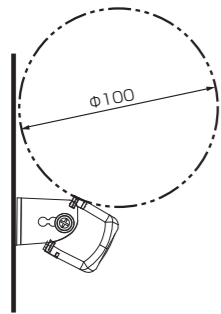


- 車両に隠れない部分

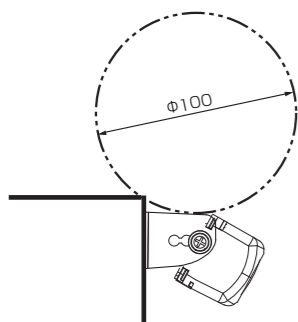


### 適合しない取付例

- カメラ本体後部が直径100mmの球と接触する

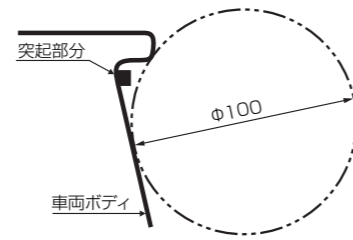


- 取付用U型ブラケットが直径100mmの球と接触する

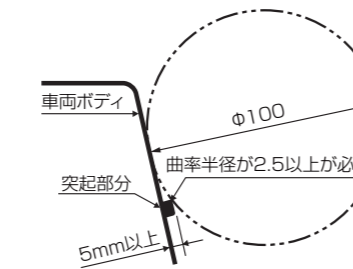


### 適合する取付例

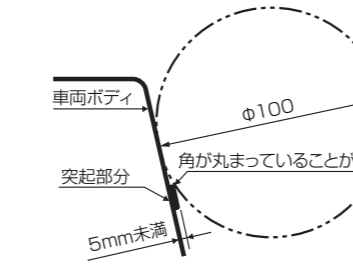
- 直径100mmの球体が接触していない



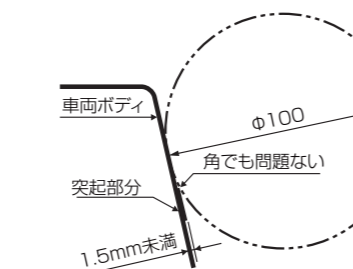
- 5mm以上の突起部分が、直径100mmの球と接触しているが、接触部分の曲率半径が2.5mm以上にである



- 5mm以内の突出部分が、直径100mmの球と接触しているが、接触部分の角が丸処理されている



- 突起部分が1.5mm未満である

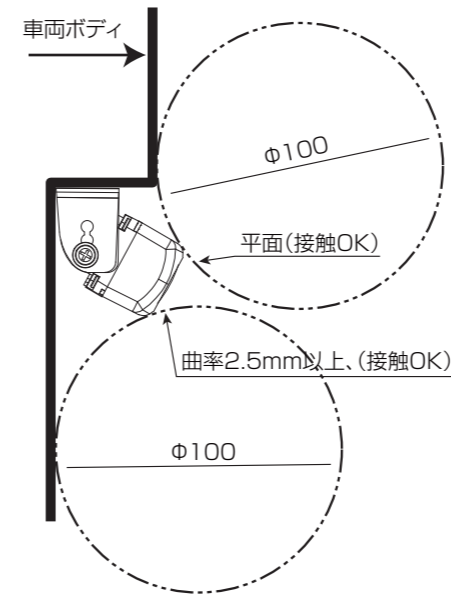


### 取り付ける前

- 接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。
- 取り付け位置によっては映像の見え方が異なりますので、事前にテープなどで仮止めし、位置を確認してから取り付けてください。
- 天気の良い日に取り付けをしてください。
- 気温が低い環境や取り付け面の温度が低い場合は、接着力を上げるためにドライヤーなどで取り付け面を温めてから取り付けてください。
- 取り付け後、24時間以内は水に濡らしたり、無理な力を加えないでください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業してください。
- U型ブラケットの3Mテープは指で触ったり貼り直しをしないでください。
- コーティング(フッ素樹脂処理など)塗装面やガラス面には取り付けしないでください。

### 取付推奨位置(例)

- ナンバープレート周辺など車両の凹部で、ナンバープレートの視認性を妨げない場所に取り付けてください。

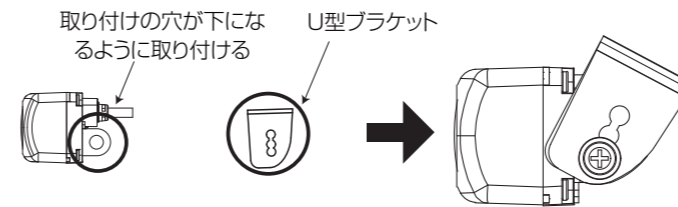


#### ①カメラの位置を確認します

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。  
 凹凸のない平らな面を選んでください。

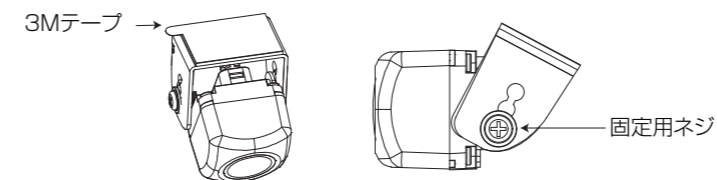
#### ②U型ブラケットにカメラを取り付ける

図のようにU型ブラケットとカメラを取り付けます。ネジを仮止めしてください。  
 カメラ/U型ブラケットの向きにご確認ください。

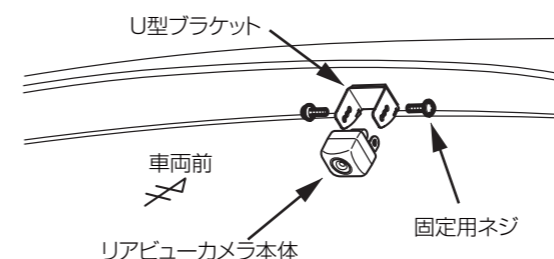


#### ③U型ブラケットを車体に取り付ける

U型ブラケットを車体に仮止めて、カメラの角度を調整してください。  
 角度の調整完了後、ネジをきつく締めてください。  
 取り付け面の汚れをふき取り乾燥させたあとに、両面テープをはがし、  
 車両にしっかりと取り付けてください。

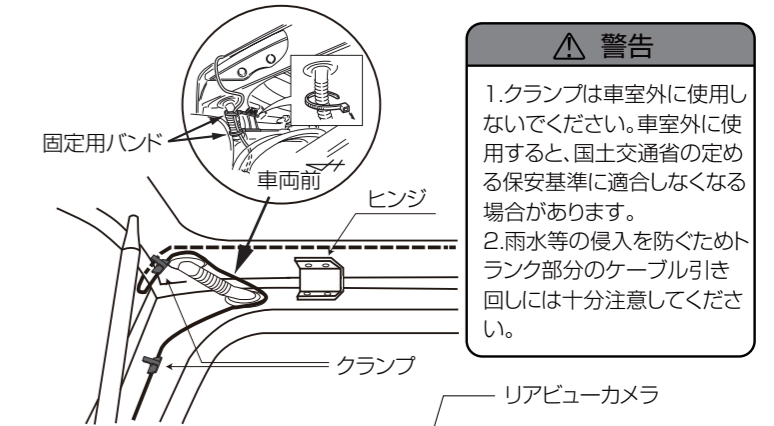


#### リヤスポイラー吊り下げ取り付け(例)



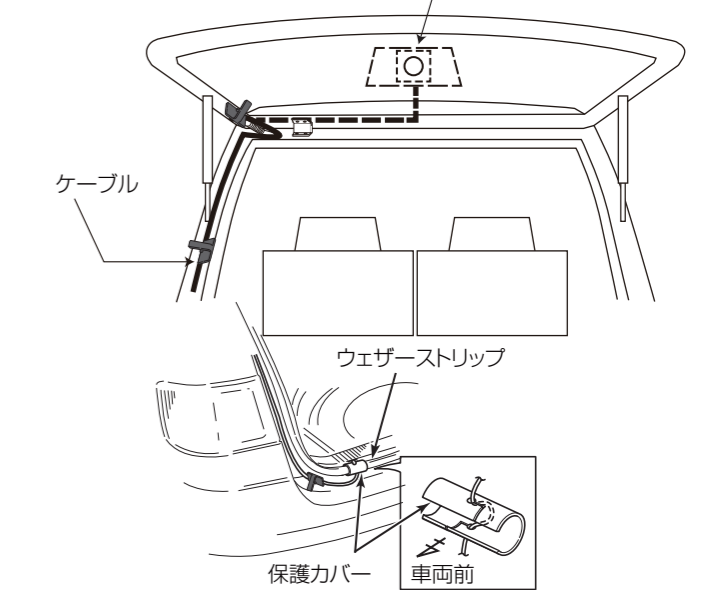
#### ④ケーブルを配線する

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないか十分に確認してください。傷ができるとカメラ内部に湿気や水が入り、壊れる原因となる場合があります。



#### 警告

1. クラмпは車室外に使用しないでください。車室外に使用すると、国土交通省の定める保安基準に適合しなくなる場合があります。
2. 雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のケーブル引き回しには十分注意してください。



- ①延長ケーブルを保護カバーのスリット部に挿入する。
- ②保護カバーをウェザーストリップに巻きつけるように取り付ける。

### システム接続例

